



三越伊勢丹ホールディングス

# this is japan.

## ～三越伊勢丹グループのあたらしい企業メッセージを発信します～

株式会社三越伊勢丹ホールディングス（東京都新宿区 代表取締役社長執行役員 大西 洋）は、企業活動の方向性をより明確に示す言葉として、あらたに企業メッセージ「this is japan.」を定め、2015年年頭より発信いたしますのでお知らせいたします。

### 1. 「this is japan.」の位置づけ

三越伊勢丹グループは、2011年より4年にわたり、日本の伝統・文化・美意識が作り出す価値を再認識し、新しい価値としてお客さまにご提供する取組みである「JAPAN SENSES」を、年間を通じた営業施策として位置づけ、推進してきました。

2015年からは「JAPAN SENSES」が担う役割は継続しながら、その取組みを更に深化させ、今回あらたに、企業メッセージ「this is japan.」を当社グループの経営戦略レベルに位置付け、三越伊勢丹グループのあらたな店づくりの基軸として、商品はもとより販売サービスに至るまで、世界に通じる日本の良さをグループを挙げて提案してまいります。2015年秋に予定しているマレーシアのクアラルンプール伊勢丹 LOT10店における「日本の優れたモノ・サービス」の発信・提供や、三越銀座店の「Japan Duty Free GINZA」は、その幕開けとなる非常に重要なプロジェクトとなります。

### 2. 「this is japan.」が発する企業メッセージ（内容）

#### is this japan?

日本の四季に育まれるもの。それは私たちの五感です。  
耳を澄ませ、匂いを感じ、見て、味わい、触れてみる。  
ものづくり、品ぞろえ、お客さまを笑顔でお迎えすること。  
もてなしのこころをととのえるのも、日本の五感。  
三越伊勢丹はそのひとつひとつに磨きをかけ、世界のあらゆる  
ひとびとにひらかれた、胸のたかなる未来をつくります。

#### this is japan.

「this is japan.」は、これから未来に向かってあらたな百貨店を作り上げていく、わたしたち三越伊勢丹グループの意志と行動の基盤、つまりは「心構え」を表す言葉です。

日本の四季が育ててきた五感を生かし、商品・サービス・店内の装飾や環境などを通じて表現していきます。これは、三越伊勢丹グループの全ての「空間」で、お客さまのライフスタイルにあらたな価値を提供していく取組みを、グループ一丸となって行うことを宣言するものです。

品揃えはもちろんのこと、お客さまをお迎えする言葉遣いや笑顔、お客さまが何をお望みかを察する想像力、お客さまの言葉に耳を澄ませ聴き取る能力、品物をお包みしお渡しするときの心遣いなど、三越伊勢丹グループの「空間」で繰り返されるあらゆるコミュニケーションのあり方の中心に「this is japan.」という言葉据えて、わたしたち三越伊勢丹グループ全員の行動に磨きをかけてまいります。

### **3. 「this is japan.」の打ち出し方について**

「this is japan.」については、以下のように発信する予定です。

#### **【発信手段（媒体）】**

- 三越伊勢丹グループ百貨店店内でのポスター掲示（海外店舗含む）
- 基幹3店舗（伊勢丹新宿本店、三越日本橋本店、三越銀座店）における外装懸垂幕掲示
- 主要新聞各紙1月1日（木）付朝刊への全面広告掲載
- 三越伊勢丹ホールディングス（<http://www.imhds.co.jp>）、  
三越（<http://www.mitsukoshi.co.jp>）、伊勢丹（<http://www.isetan.co.jp>）  
各ホームページのトップ画面に掲示
- ※ホームページには58言語に翻訳し掲示 等

#### **【「this is japan.」の文字表記】**

今回の英文表記は非常にメッセージ性の強いものです。そのため、This is Japan. と大文字を交えて表記すると、「ただ強いもの」になってしまい、繊細な「日本の五感」のニュアンスが伝わらないと考えました。そのための配慮として英文表記を小文字で統一しています。

#### **【メインビジュアルモデル＝国木田 彩良（くにきだ さいら）さん】**

小説家国木田独歩氏の玄孫、ロンドン生まれ、パリ育ち。日本人の母親とイタリア人の父親をもつ。

「自分のルーツである日本でモデルになりたい」と来日を決意し、2014年9月にデビュー。

20歳になってルーツである日本を見だし、そこで生きようと決意した姿に共感し、

「this is japan.」を言葉をつくして説明することなく存在そのもので端的に象徴できるとし起用しております。

実際の「this is japan.」のビジュアルについては、ぜひ2015年1月1日（木）に上記の媒体でご確認ください。

**(株)三越伊勢丹ホールディングス 業務本部総務部コーポレートコミュニケーション担当 広報**  
**TEL:03-6205-6003 FAX:03-6205-6009**